

津和野・日原小生対象放課後教室「つれ志」の隣

A group of children are gathered around a large tree trunk, participating in a woodcarving workshop. One child in a green jacket is using a mallet and chisel to work on a piece of wood. Another child in a pink jacket is watching. A woman in a patterned dress is seated nearby, possibly supervising or assisting. The scene is outdoors, with a wooden building visible in the background.

掛軸・額・屏風  
表具・内装一式  
ふすま新調・張替・障子張替

毎日新聞  
平成29年1月28日(土) →

自己ベスト更新 夕食では、これまでに炊き込みご飯やカレーナなどを作った。家庭で子供にも料理をさせたい。生徒の成長に充実感を覚えられる。高校生になつてからには放課後教室を始めた。昨年の9月から始めた森林活動は火起こしやおもろみや昭和の音の育てることで、運動の時間に屋外をメインにして遊びました。
に携わっていた。生徒たちは手間がかかるところに携わった。親子で調理を楽しむことだ。自ら考えて動機会を用意したといふ。今年9月から始めた森林活動は火起こしやおもろみや昭和の音の育てることで、運動の時間に屋外をメインにして遊びました。
思ひが放課後教室を始めた。今年9月から始めた森林活動は火起こしやおもろみや昭和の音の育てることで、運動の時間に屋外をメインにして遊びました。
教室では、夕食作りと、原木シイタケの採取や、原木への種矢上木は「最近は総合的な力を伸ばすため、試行錯誤を続けています。」
をや、森林活動「ウツラ探取」で、原木シイタケの遊びを取り入れた。矢上木は「最近は総合的な力を伸ばすため、試行錯誤を続けています。」
「ウツラ」は、木工などがあり、光景を復活させようとしている。生徒たちは保護者が多く、親子で調理を楽しむことだ。自ら考えて動機会を用意したといふ。今年9月から始めた森林活動は火起こしやおもろみや昭和の音の育てることで、運動の時間に屋外をメインにして遊びました。

矢町上さん提案委教活動幅広げる

津和野町立日原小学校（全校児童91人）の児童を対象にした放課後子ども教室「つわの育ちつわの隊」が開かれている。算数・論語かるた、整い運動を通じて週2回、アマ百人一首式の「論語かるた」、教室に加え、家族らへの夕食の振舞いなど日々に活動の幅を広げる。町教委の矢上里穂子さん(32)が「基礎学力のか、体験を通して児童がココロで一շょン能力や体力を身につけられる場に」と指摘している。横井信洋